L5178-R

400258

□要

□明

L5178-R□胞株はマウスのリンパ組織由来のマウスリンパ腫 □胞株である。この□胞株は、リンパ腫発生のメカニズムや、化学療法剤および放射線を含む様々な治療に対する □胞応答の研究において特に注目されている。 L5178-R□胞は放射線抵抗性であるため、癌 □胞の放射線抵抗性に寄与する分子的・遺伝的因子を探索するための貴重なモデルとなる。この特性は、耐性癌の治療戦略を改善する研究に不可欠である。

L5178-R□胞は変異原性薬剤に対する感受性が高いため、突然変異誘発や発癌の研究にもよく用いられる。この感受性は、化学化合物の変異原性を評価するアッセイで利用され、毒性研究や安全性評価に貢献している。この □胞株の遺伝学的および表現型の特徴は、 in vitro研究のための強固なプラットフォームを提供し、科学者ががんの発生と進行に関与する経路を解明することを可能にする。さらに、 L5178-R□胞株は免疫学的研究において、腫瘍 □胞と免疫系との相互作用を理解するために使用され、免疫療法アプローチの開発に役立っている。

ティッシュ	胸腺
病気	白血病

同義語

- L5178Y-R
- L5178YR
- L-5178-Y-R
- LY-R
- LYR

分類

生物	マウス
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	丸い□胞
細胞の種類	Tリンパ球
腫瘍形成性	DBA/2マウス

識別子

引用

L5178-R (Cytion カタログ番号 400258)

NCBI 納税者番号	10090
セロサウルス	CVCL_4234

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

ウイルス

MAPテスト陰性：Sendai ′ Ektromelie ′ Polyoma ′ K-Virus ′ Kilham ′ Reo 3 ′ PVM ′ LCM ′ M.pulmonis ′ MVM ′ Theiler's GD VII ′ Toolan's H-1 ′ MHV ′ LDV ′ RCV/SDA ′ M-アデノウイルス、B.piliformis。

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10％FBS ′ 1mMピルビン酸ナトリウム、1％NEAAを添加する。

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の □胞密度は5×10^5□胞/mlとし、最適な増殖のため□胞濃度を3×10^5～1×10^6□胞/mlの範囲に保つ。

播種密度	1 × 10^6 □胞/ml
流体の更新	3日ごと
解凍後の回復	2～4日

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

品種／亜種	DBA/2

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

免責事項

当社の□胞は、試験管内での研究目的に限定して提供されるものであり、臨床的または診断的使用を意図したものではなく、ヒトへの投与や獣医学的目的に使用されるものでもありません。使用者は、研究環境におけるこれらの □胞の取り扱いと使用について、適用されるすべてのガイドラインと規制を遵守しなければなりません。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB